

- 問1 アメリカ合衆国と日本の農業統計を比較すると、アメリカ合衆国は日本に比べて農業従事者数が極めて少ない一方で、耕地面積と穀物生産量が圧倒的に多いという特徴があります。このような、少ない労働力で広大な土地を経営する農業のあり方を説明したものと、最も適切なものはどれですか。（2018年 福岡県公立入試 類似）
1. 一つの耕地で異なる種類の作物を時期をずらして栽培し、土地を休ませることなく活用している。
 2. 伝統的な農具を使用し、自然の降水のみに頼った環境負荷の低い小規模な生産を続けている。
 3. 多くの労働力を投入し、狭い土地から最大限の収穫を得るためのきめ細かな作業を行っている。
 4. 大型の機械を導入することで、一人あたりの耕地面積を広くし、効率的に大量の穀物を生産している。
- 問2 カナダは、多様な民族の文化を互いに尊重し合う「多文化主義（マルチカルチュラリズム）」を政策として採用しています。これに関連して、カナダで英語とともに公用語として定められている言語はどれですか。（2022年 佐賀県公立入試 類似）
1. 中国語
 2. フランス語
 3. スペイン語
 4. ドイツ語
- 問3 アメリカ合衆国の北緯37度より南の地域では、1970年代以降に新しい工業が急速に発達しました。この地域で航空宇宙産業や情報通信産業が成長した理由として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 山口県公立入試 類似）
1. 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が得られやすかったため
 2. 五大湖の水運とアパラチア山脈の石炭を組み合わせ鉄鋼業を振興したため
 3. 古くから続く綿花栽培の労働力をそのまま先端技術産業に活用できたため
 4. サンフランシスコ近郊に情報通信産業の企業が集中し、シリコンバレーと呼ばれたため
- 問4 アメリカ合衆国の人口構成において、メキシコやカリブ海諸国などの中南米にあるスペイン語圏の国々から移住してきた人々と、その子孫を指す名称として適切なものはどれですか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. アングロサクソン
 2. ヒスパニック
 3. インディアン
 4. アボリジニ
- 問5 アメリカ合衆国の地域別工業生産額の変化を示す資料において、近年その割合を大きく伸ばしている太平洋岸地域。その中心の一つであるサンフランシスコ近郊に位置し、半導体やソフトウェアなどの先端技術産業が高度に集積している地域を何と呼びますか。（2022年 島根県公立入試 類似）
1. サンベルト
 2. デトロイト
 3. ピッツバーグ
 4. シリコンバレー
- 問6 メキシコシティ周辺の、夏季にまとまった降水がある地域の景観について述べた文として、自然環境に即した正しい記述を選んでください。（2026年 千葉県公立入試 類似）
1. 年間を通じて降水が極めて少ないため、灌漑施設を備えた大規模な小麦の円形農場が広がっている。
 2. 激しい降雨から家屋を守るため、傾斜地では地面に支柱を立てた高床式の住居が密集している。
 3. 地力を回復させるために樹木を焼き払い、その灰を肥料として利用する移動式の焼畑農業が中心となっている。
 4. 降水による斜面の土壌流出を防ぐため、石積みので段々畑が作られ、伝統的な農耕が行われている。
- 問7 北アメリカ大陸の中部に広がる、年平均気温が約10度で夏季と冬季の寒暖差が大きく、年間を通じて一定の降水量（約900mm程度）がある地域で行われている農業の特色について、背景を含めて説明したものと正しいものはどれですか。（2019年 東京都公立入試 類似）
1. 偏西風の影響で一年中温暖な気候を活かし、都市向けの生鮮野菜を生産する近郊農業が中心となっている
 2. 標高が高い山岳地帯であるため、涼しい気候を活かしてアルパカの放牧やジャガイモの原産地としての農業が行われている
 3. 広大な平原と適度な降水量を活かし、大型機械を用いた効率的な手法で小麦などを生産する「適地適作」が行われている
 4. 降水量が少なく乾燥しているため、センターピボットと呼ばれる散水装置を用いて、地下水を汲み上げながら綿花を栽培している
- 問8 2017年の統計において、世界の小麦生産量の割合は、中国が17.4%、インドが12.8%、ロシアが11.1%となっています。これらに次いで世界全体の約6.1%を生産し、北アメリカ大陸に位置している国家として正しいものを選択肢から選びなさい。（2020年 愛媛県公立入試 類似）
1. オーストラリア
 2. アメリカ合衆国
 3. カナダ
 4. ブラジル
- 問9 1970年代以降、アメリカ合衆国の北東部から南部・西部の「サンベルト」へと、多くの企業や人口が移動しました。この背景にある、先端技術産業がサンベルトで発展した理由として適切なものはどれですか。（2019年 岩手県公立入試 類似）
1. 大西洋を挟んだヨーロッパ諸国との貿易に、地理的に最も有利な位置であったため。
 2. 原料となる鉄鉱石や石炭が豊富で、巨大な製鉄所が古くから建設されていたため。
 3. 安価で広大な土地や労働力が得やすく、税制上の優遇措置もあったため。
 4. 冬の寒さが厳しいため、精密機械を冷却するのに適した気候条件が整っていたため。
- 問10 アメリカ合衆国の農業において、広大な敷地に柵を設け、大量の肉牛を並べて集中的に管理する「フィードロット」が設けられる主な目的として、最も適切なものはどれですか。（2025年 北海道公立入試 類似）
1. 乳製品の原料となる生乳を大量に生産するため
 2. 短期間で肉牛を肥育させて効率よく出荷するため
 3. 広大な草原で牛を自由に歩かせて自然に成長させるため
 4. 自給用の作物を栽培しながら少数の家畜を飼育するため
- 問11 2016年の貿易統計において、日本の最大の輸出相手国（輸出額の約20.2%）となっている国について述べたものとして正しい名称を選びなさい。なお、この国は輸出総額において中国に次ぐ規模を誇り、自国の最大の輸出相手国としては、陸上で国境を接するカナダ（約18.3%）を挙げています。（2019年 岩手県公立入試 類似）
1. アメリカ合衆国
 2. 大韓民国
 3. ドイツ
 4. オーストラリア
- 問12 アメリカ合衆国の南西部、特にメキシコとの国境に近い地域において、全人口に占める割合が非常に高くなっている、スペイン語を話す中南米諸国からの移住者やその子孫を何と呼びますか。（2026年 沖縄県公立入試 類似）
1. ヨーロッパ系
 2. ヒスパニック
 3. アジア系
 4. アフリカ系
- 問13 アメリカ合衆国のエネルギー事情と電源構成について、各発電形式の割合を示した数値の組み合わせとして、その産業的背景と照らして最も適切なものはどれですか。（2020年 三重県公立入試 類似）
1. 広大な土地を利用した太陽光・風力などの再生可能エネルギーが、発電全体の約70%を占める。
 2. 急峻な地形と豊富な雨量を利用した水力発電が、発電全体の約50%以上を占めている。
 3. 化石燃料を主軸とした火力発電が約70%、技術的基盤を有する原子力発電が約20%である。
 4. 豊富な地下資源を背景に火力発電が約90%を占め、原子力発電はほとんど行われていない。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 大型の機械を導入することで、一人あたりの耕地面積を広くし、効率的に大量の穀物を生産している。	アメリカ合衆国の農業は、広大な国土を活かした「企業的農業」が主流です。トラクターやコンバインといった大型機械を駆使することで、農家一人あたりの管理面積を極限まで広げています。これにより、日本のような労働集約的な農業（面積あたりの手間をかける農業）とは対照的に、高い労働生産性を実現し、世界最大の農産物輸出国としての地位を築いています。
問2	答え 2 フランス語	カナダは歴史的にイギリスとフランスの両国による植民地支配を受けた背景があり、現在も英語とフランス語の二つを公用語として定めています。特にケベック州などの地域ではフランス系住民が多く、文化的な独自性を守るための政策がとられています。
問3	答え 1 温暖な気候に加え、広大な土地や安価な労働力が得られやすかったため	サンベルトの成長は、豊かな自然環境（温暖な気候）だけでなく、工場を建てるための安価な土地や、労働組合の力が比較的弱く賃金が抑制されていた労働力が存在したことが要因です。シリコンバレーはサンベルトの一部に含まれますが、地域全体の発展理由としては広範な社会的条件を指すものが適切です。
問4	答え 2 ヒスパニック	アメリカ合衆国では、地理的に近いメキシコや中南米のスペイン語圏から仕事を求めて移住する人々が増加しており、これらの人々は「ヒスパニック」と呼ばれます。アングロサクソンは主にイギリス系の白人を指し、インディアンは北アメリカの先住民を指します。
問5	答え 4 シリコンバレー	アメリカの工業の中心は、かつての重厚長大産業が盛んだった五大湖周辺から、先端技術産業が成長した南部や西部の地域へと移行しました。サンフランシスコの南に広がるこの地域は、半導体の主原料である「シリコン」にちなんで命名され、世界的なICT（情報通信技術）企業の本拠地が数多く存在しています。
問6	答え 4 降水による斜面の土壌流出を防ぐため、石積み の段々畑が作られ、伝統的な農耕が行われている。	メキシコシティ周辺の傾斜地では、夏季の集中した降水によって山の斜面の土が流れ出さないよう、古くから石を積んで平坦な面を作る「段々畑」が築かれてきました。これは、限られた土地を有効に活用しつつ、厳しい自然条件に対応するために生み出された独特の農業景観です。
問7	答え 3 広大な平原と適度な降水量を活かし、大型機械を用いた効率的な手法で小麦などを生産する「適地適作」が行われている	この地域は「世界の食糧庫」とも呼ばれ、冷帯や温帯の気候区分にまたがっています。広大な土地と、年間を通じて極端な乾燥がない気候条件を背景に、それぞれの土地の気候や土壌に最も適した作物を栽培する「適地適作」が徹底されており、高度に機械化された大規模農業が展開されています。
問8	答え 2 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、広大な土地と高度な機械化を背景に、世界でも有数の小麦生産量を誇っています。中国やインドは人口が多く国内での消費量も多いため生産量が上位に位置しますが、アメリカ合衆国はロシアとともに主要な小麦輸出国の役割も果たしています。
問9	答え 3 安価で広大な土地や労働力が得やすく、税制上の優遇措置もあったため。	サンベルトが発展した背景には、広大な土地と安価な労働力、さらに企業を誘致するための積極的な優遇政策があります。また、温暖な気候（サニーな気候）が冷暖房設備の普及とともに、労働者にとっても生活しやすい環境として選ばれたことも、産業と人口の移動を後押ししました。
問10	答え 2 短期間で肉牛を肥育させて効率よく出荷するため	フィードロットは企業的な牧畜システムの一環として、市場の需要に合わせて肉牛を効率的に生産するために導入されています。穀物飼料を集中的に与えることで、成長速度を早めて出荷までの期間を短縮させることが可能です。乳を搾る酪農や、牛を自由に移動させる放牧とは明確に区別されます。
問11	答え 1 アメリカ合衆国	2016年時点の統計では、日本の最大の輸出相手国はアメリカ合衆国です。アメリカ合衆国は地理的に隣接し、北米自由貿易協定（NAFTA）などで経済的結びつきが強いカナダを最大の輸出相手国としています。輸出総額で見ると、世界1位は中国であり、アメリカ合衆国はそれに次ぐ世界有数の輸出大国としての地位を保っています。
問12	答え 2 ヒスパニック	アメリカ合衆国の南西部は地理的にメキシコと接しているため、メキシコを中心とした中南米からの移住者が多く居住しています。彼らは「ヒスパニック」と呼ばれ、アメリカにおいて白人に次いで大きな人口規模を持つグループとなっています。
問13	答え 3 化石燃料を主軸とした火力発電が約70%、技術的基盤を有する原子力発電が約20%である。	アメリカ合衆国は世界最大の経済規模を持ち、膨大な電力を必要とします。そのため、供給が安定している火力発電を主力（約7割）とし、次いで原子力発電（約2割）を組み合わせる電源構成をとっています。フランスのように特定の電源（原子力）に7割以上依存したり、カナダのように水力発電が主流（約5割以上）になったりする国と比較すると、化石燃料資源と高度な技術力の双方をバランスよく活用している実態が読み取れます。